

『AI Agent Ready』 AI Agent によるインフラ自律運用の実現に向けて

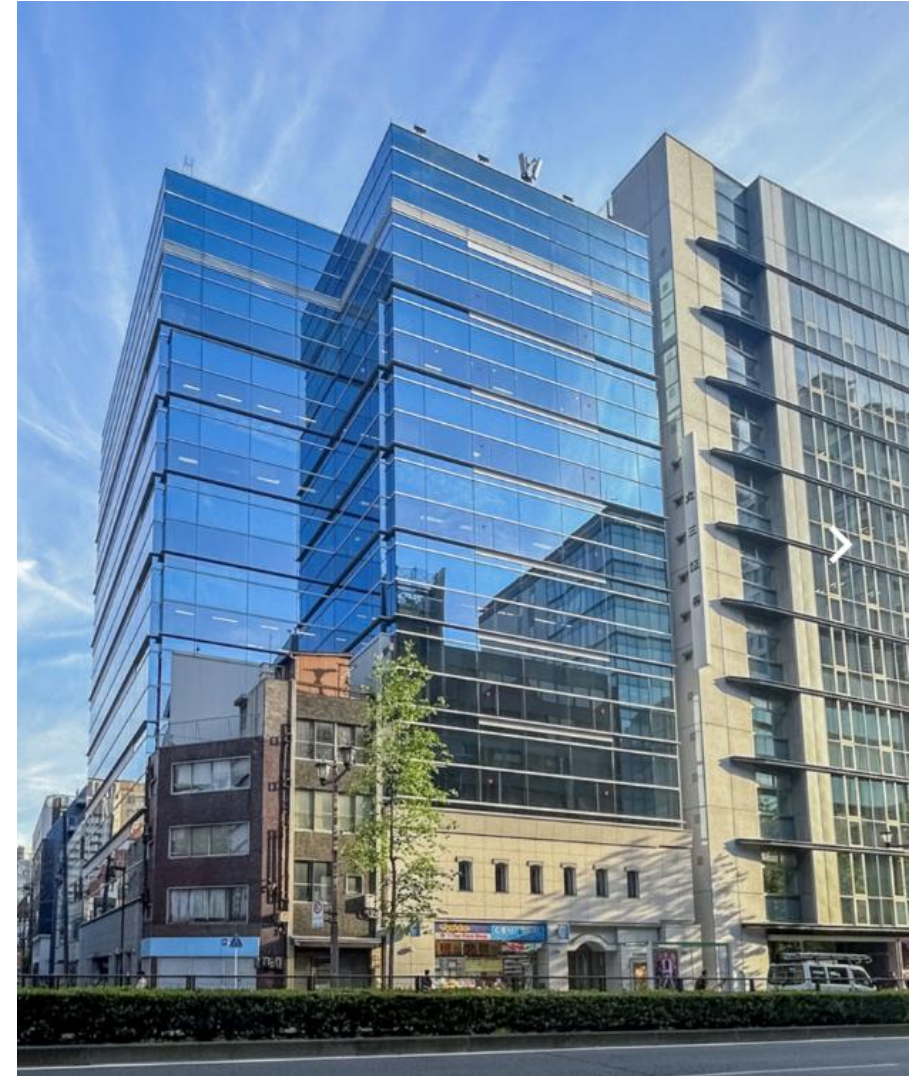
Quality Cloud

2026年7月3日

QualityCloud株式会社

取締役CRO 角谷 修

会社名	Quality Cloud 株式会社	
設立	2023年 10月13日	
資本金	2億3,000万円	
株主	クオリティソフト株式会社 千本 倅生	
所在地	東京都千代田区麹町三丁目 3 番地 4	
経営陣	代表取締役社長CEO	吉谷 清
	取締役CTO	六戸 力
	取締役CRO	角谷 修
	取締役	千本 倅生
	取締役	浦 聖治
事業内容	“Cloud Green System”、“Open Cypress”の 開発、販売、サービス提供、運用・保守サービス、 これらに関するコンサルティング	



**国産クラウド基盤サービスを、パートナー各社と立ち上げ、
データの安全性、コストパフォーマンスの高いサービスとして提供し、
日本企業のクラウド活用に貢献する。**

ITインフラ技術における複雑化の歴史と最新の課題の整理



顧客の真のニーズ

顧客は「高度な技術」そのものではなく、事業を止めず、専門知識が無くても、「**簡単・安全・継続的**」に使える**IT基盤**を求めている。

現在の市場の課題

VMでの管理環境には慣れており、コンテナとの混在環境を自社で管理しようとする、高額な海外製ソフトウェアツールと、それを運用する**高度なIT人材**（枯渇状態）が必要となってしまう。

Quality Cloudの役割

複雑な技術をより簡単にする
統合管理機能に加え、
「安全な専有環境」、
「圧倒的な省電力」を
ワンストップで提供し、顧客の事業を支援する。

顧客のニーズに包括的に応えるため、
「ソフトウェア」と「ハードウェア基盤」の両輪での事業を展開。



**Open Cypress
(統合管理ソフトウェア)**



**CGS (Cloud Green System)
(プライベートクラウド基盤)**



Professional Service

CGS/OPEN CTレーニング
CGS/OPEN Cypress コンサルティング
CGS/OPEN Cypress 初期導入サービス
CGS/OPEN Cypress ヘルプデスク

CGSはローカル配置・専用サーバー・省電力に強い実装基盤へ OPEN Cypressは人とAIの運用を安全に統治するコントロールプレーンへ

外部環境変化

- トレンド：
- ▶ AI活用の本格化
 - ▶ 監査・統制要求の強化
 - ▶ クラウドから拠点への分散化
 - ▶ データ主権・法域リスク
 - ▶ 省エネ要求の高まり

目指すアーキテクチャ

コントロールプレーン（頭脳） OPEN Cypress
インフラ環境の統一管理 / 監査ログ / 承認付き自動化

セキュアな統合統制

実装基盤（手足） CGS(Cloud Green System)

ローカル配置
(データ主権)

専用環境
(高セキュア)

低消費電力
(グリーン・短納期)

重点施策

- ✓ AI Agentによる管理
- ✓ ポリシー制御と安全な自動化
- ✓ 監査ログと説明責任の強化
- ✓ VM / k3s に対する
AI Agent運用の統合
- ✓ BMaaSを見据えた標準化

OPEN Cypress AI Agent Ready



AIエージェントを**安全に**インフラ運用へ取り込むため、 操作を制御・記録する基盤を整備

機能 function

ポリシー制御

AIに許可する操作範囲を決め
危険な操作を防ぐ仕組み

監査ログ

誰が、いつ、何をしたかを記録
し説明できる状態を作る

Agent Workbench

AIが安全に作業するための
制御エリアにより、操作を確実
かつ安全に実行

人とAIが協調することで、より効率的で安心できる
インフラ運用を実現します。

私たちは、AI Agentによる自律運用の実現に向け、
新しいインフラの未来を支えていきます。

見える・止められる・説明できる

だから、インフラに AI が使える

